

若柳地区放課後等デイサービス事業所みらい
事業所職員向 放課後等デイサービス評価表
 令和4年3月実施

					枚中	枚回収
チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点	
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3		・個室が少なくフロアスペースも広いとは言えませんが、公園やドライブ・散歩等の屋外活動を多く取り入れ、室内環境の住み分けを行いました。	
	② 職員の配置数は適切であるか	1	2	2	・同法人内の他事業所の支援員に協力を依頼する等の工夫をしていますが、職員の手が足りず活動に制限が生じることがあります。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	3	2		・スロープ、手すりの設置等、バリアフリー化に取り組んでいます。	
業務改善	④ 業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く参画しているか	2	3		・必要時に会議に挙げ、検討しています。	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し業務改善につなげているか	5			・家族会で検討したり、周知について方法を変えたりしました。	
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			・毎年ホームページで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	4	・例年は第三者委員に来所してもらっていますが、コロナウイルス感染症予防による自粛のため、実施できませんでした。	
	⑧ 職員の資質の向上を行う為に研修の機会を確保しているか	4	1		・常勤・非常勤ともに毎年研修を受けています。今年度はコロナ感染症予防のため、研修の数は減りましたが、オンラインにて研修を受けました。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・半年に1度アセスメントの見直しを行い、それに基づいて計画を行っています。	
	⑩ 子どもの適応行動を図る為に標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		・法人内でのアセスメント書式を使用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・モニタリング会議で一人一人の活動内容について確認し、提供を行うようにしています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しない様工夫しているか	1	4		・コロナ感染症拡大予防を優先した環境下のため、提供する活動は昨年度に比べて減りました。また充実した内容ではありませんでした。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	2		・基本的にはニーズに沿った活動内容を提供できるよう努めています。長期休みはイベントや外出、音楽レク等の活動を計画的に企画して提供していますが、今年度はコロナの関係で活動内容をたくさん組むことはできませんでした。	
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・集団での行動が苦手な利用者にも、職員を介して一緒に活動できるよう取り組んでいます。（音楽レク・ボール遊び・おやつ作り・追いかっこ等）	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	1	・基本的には毎日打ち合わせを行っています。出勤時間の異なる職員にはその都度連絡をしていますが、すでに活動中のため、利用者の前では個人的な引継ぎは控えました。	
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	1	1	・状況によりできない日もありますが、なるべく時間をとり振り返りの中でお互いの情報や気づきを共有しています。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・毎日の記録をとり、モニタリング等で検討しています。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断しているか	5			・毎月1回一人一人の個別支援計画についてモニタリングを行っています。	

若柳地区放課後等デイサービス事業所みらい
放課後等デイサービス評価表
事業所職員向け
 令和4年3月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	3		
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防による自粛態勢のため、会議が開催されず、情報が取りにくいことがありました。
	㉑	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を行っているか	5			・養護学校は年に1度情報交換会を行っています。 ・支援級とは特に情報交換会は行っておりませんが、必要に応じてお迎えの時や電話等で情報交換や共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか		3	2	・今後の検討課題の一つではありますが、建物の構造や人員配置等から、受け入れは難しい状況です。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	・必要に応じて行っています（今年度は特に情報提供の希望はなかったため行っていません）
	㉔	学校卒業後放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		・必要に応じて行っています（今年度は特に情報提供の希望はなかったため行っていません）
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		・相談支援でのモニタリングや情報交換等は行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	2	3		・ご家族の意向を汲み取り、あえて機会は設定していません。しかし公園等に行った際、地域の子供たちと自然に遊んで関わっている利用者もいます。今後もこのような自然な形で交流できればと思っています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	2	・当事業所からは参加していませんが、法人内の他事業所の職員が代表で参加しています。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	5			・電話やノート等を活用してご家族と情報交換できるよう努めています。 ・なるべく送迎時にも情報交換を行うよう努めていますが、毎日の送迎時のみでは保護者との情報共有の時間が充分とはいえません。
保護者への説明責任	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	・現在は特に必要な方はいませんが、職員自身も学んだうえで伝えられる情報はお伝えしていきたいと考えています。
	⑳	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約時に必ず読み合わせを行い、その中で説明と確認を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		・相談や悩み等がある場合は、個別に場を設け助言と支援を行うよう努めていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面談等ができませんでした。今後はコロナ禍のタイミングを見て話しやすい環境を提供できるよう努めていきます。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		・ご家族の希望より、家族会の回数を増やす予定でしたが、コロナの影響で実施に至りませんでした。状況を見て保護者会を開催したいと思います。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・苦情対応の体制は整っていますが、ご家族からのご意見については大小に限らず、真摯に受けとめ、どんなことでも誠意をもって対応したいと思っています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・年に機関紙（みらい通信）を3回発行し、活動の様子をお伝えしています。今年度は事業所での取り組みについて発行し、情報発信に努めました。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	5			・不適切な支援防止について毎月振り返りを行っています。その中でも個人情報についてを取り上げ、支援員一人一人が考える機会を設けています。
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	5			・会議に限らず、連絡会等でも職員間で確認を行い、次に繋がる支援を行えるよう努めています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	・今年度は、コロナの影響により交流を控えました。

若柳地区放課後等デイサービス事業所みらい

事業所職員向け

放課後等デイサービス評価表

令和4年3月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			・各マニュアルは会議で検討し決裁が下りたものをご家族に情報提供しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要の訓練を行っているか	5			・上半期、下半期に1度行っています。訓練の様子を会報等でも報告しています。
	㉒	虐待を防止する為職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	5			・法人内での研修を行っています。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			・身体拘束について組織的に取り組んでいます。現在は身体拘束を必要とする利用者をご利用されていないため、特に個別支援計画等への記載もしていません。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか	5			・現在は該当者がいませんが、必要に応じて検討します。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・法人内委員会で毎月各事業所の報告を行い、更に月でまとめて報告書を提出しています。事業所内では、会議の中でひやりはっと検証を行い、共有できるよう努めています。